

上毛町教育委員会だより

学校における食育の推進

学校では、偏った栄養摂取や朝食の欠食など子どもの食生活の乱れや肥満・過度のやせなどの健康問題、そして食物アレルギーへの対応が喫緊の課題となっています。

このような中、本町では「第2次上毛町食育のまちづくり推進計画」に基づいた食育の推進を行っています。

教育委員会では、南吉富小学校と上毛中学校に栄養教諭を配置して町内学校間の連携を図りながら食に関する指導の充実を図っています。

栄養教諭は、給食の時間及び教科などにおける食に関する指導や食物アレルギーなどへの個別的な指導の中心的な役割を果たすと共に学校給食の栄養管理(献立作成)や衛生管理を行っています。また、子どもたちに地域のよさを理解させたり、愛着をもたせたりする上で地域の農産物を学校給食に取り入れたり、食に関する知識や経験を有する人材や教材を有効に活用したりして地域と連携、協働した食育の推進を図っています。

成長期にある子どもにとって、健全な食生活は健康な心身を育むために欠かせないものであると同時に将来の食習慣を身に付ける上で大きな影響を与えます。

学校における食育の推進は、子どもが生涯にわたって健やかに生きるための基礎となるものです。



▲スイートコーンの皮むき(南吉富小学校)



▲はしの正しい使い方(南吉富小学校)



▲バランスの良い食事の在り方の授業(上毛中学校) [令和元年度]



▲弁当づくり教室(南吉富小学校)



▲自分で作るおにぎりの日(上毛中学校) [令和元年度]



▲スナップエンドウの皮むき(上毛中学校)

広島・長崎爆心地中間点上毛町「未来へつなぐ平和の架け橋事業」

上毛町では、令和元年度に大池公園内に被爆樹木2世を植樹し、平和記念式典において「広島・長崎爆心地中間点上毛町平和宣言」を行い、核兵器廃絶・世界恒久平和に向けた新たな発信拠点として、「未来へつなぐ平和の架け橋事業」を開始しました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業規模を縮小して、「原爆写真・ポスター展」と「献花式」を以下のとおり実施しました。

「原爆写真・ポスター展」

世界恒久平和に向けた取組の一環として、原爆被害の悲惨さを伝えるため、7月9日(木)から8月31日(月)までの期間、町内小学校、げんきの杜、大平支所及び役場にて「原爆写真・ポスター展」を開催し、数多くの小学生や町民の皆さんにご覧いただきました。



「献花式」

原爆犠牲者への追悼と世界の恒久平和を祈念するために、広島と長崎に原爆が投下された8月6日(木)と8月9日(日)に、町長をはじめ5名が出席し、大池公園内にある被爆樹木2世を植樹した「広島の高」・「長崎の高」及び「記念モニュメント」前にて、献花式を行いました。

当日は、広島・長崎両市に原爆が投下された時刻に合わせて黙とうを行い、その後出席者全員で献花しました。



戦没者追悼式

令和2年度上毛町戦没者追悼式が、8月15日(土)、げんきの杜で行われました。

式では、遺族の方々約40名が出席するなか、坪根町長が「不戦の誓いと、戦没者のご冥福をお祈りする。」と式辞を述べました。戦没者へ黙祷を捧げた後、参列者により献花を行い、恒久平和への願いを新たにしました。



お盆の切り花・ほおずき市を開催しました!

8月10日(月)から14日(金)まで、道の駅しんよしとみでお盆の切り花特売市を、8月11日(火)から13日(木)まで、さわやか市大平でほおずき市を開催しました。

お盆用のほおずきや切り花、旬の野菜などを販売し、多くの客でにぎわいました。

さわやか市大平・道の駅しんよしとみとも、販売開始と同時に行列ができ、用意したほおずきと切り花は、連日完売しました。

